

ORGATEC TOKYO 2024
IYOBE PRODUCT CATALOGUE

IYOBE
SUPERFLUID

29/30/31 May 10am/5pm
East Hall 5 | Stand P-20

IYOBE

おかげさまをもちまして60周年

SUPERFLUID

Like superfluidity, which penetrates the walls of a container without losing energy, IYOBE will present at Orgatec Tokyo 2024 a groundbreaking collection that harmonizes function and form without being bound by existing frameworks or conventions. Each piece blends into a variety of spaces while maintaining the concept of superfluidity.

1. Adaptability to Diverse Environments
IYOBE furniture is purposefully crafted to adapt to your needs and spaces, ranging from coworking spaces to hotel lounges and living rooms.

2. Organic Curves
Soft forms that lead from hard lines to soft curves bring spaces to life and induce people to touch and connect with each other.

3. Soft Aesthetics and Striking Design
Softness is not weakness. The combination of fabrics, shapes and colors creates an inviting aura.

Join us at Orgatec Tokyo 2024 and immerse yourself in the superfluidity of design.

エネルギーを失わずに容器の壁を突き抜ける超流動の様に、IYOBEは既存の枠組みや慣習にとられない機能とフォルムが調和した画期的なコレクションをOrgatec Tokyo 2024で発表します。それぞれの作品は、超流動のコンセプトを保ちながら、様々な空間に溶け込みます。

1. 多様な環境への適応性
IYOBEの家具は目的を持って生み出され、コワーキングスペースからホテルのラウンジ、リビングルームに至るまで、お客様のニーズやスペースに適應します。

2. 有機的な曲線
硬いラインから柔らかなカーブへと繋がる柔らかなフォルムは、空間に生命を吹き込み、人々の触れ合いとつながりを誘発します。

3. ソフトな美しさと印象的な意匠
柔らかさは弱さではなく、ファブリック、形状、カラーのコンビネーションは、魅力的なオーラを醸し出します。

IYOBEの展示空間にて、デザインの超流動性をご体感ください。



1 _____
MEC DESIGN INTERNATIONAL Japan

Moe Yoshizumi - Tranquil chair
Ayako Izukawa - Edge chair

2 _____
rikarudo. Italy

lire / chair, armchair, sofa
table, coffee table, shelf

3 _____
TOMOYUKI MATSUOKA DESIGN Japan

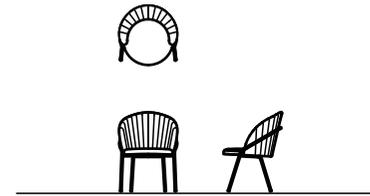
membrane chair / chair, lounge chair

4 _____
NEXT 10 CHAIRS Japan

DE-SIGN INC. - Agumu Chair
Tomohiro Hata - Vault chair
Takaaki Fuji - Wind Stories
Yu Momoeda - Seasons

Tranquil chair トランクイルチェア

details and dimensions



L2308AA ラウンジチェア
w580 d590 h780 sh430

砂紋の生み出す自然の情景や静寂さからインスピレーションを受け、その場にある事で柔らかく繊細な空間を生み出すアームレスチェアです。

背は椅子張りの技術を用いたボリューム感あるラインが身体を優しく包み込み、ダイニングやオフィスレセプション、ラウンジ等の幅広いシーンに調和します。視覚・体感の双方から、心穏やかな時間を演出します。

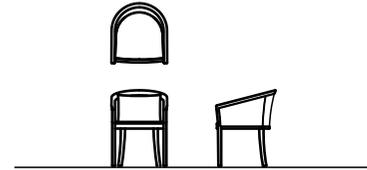


MEC DESIGN INTERNATIONAL
Moe Yoshizumi



Edge chair エッジチェア

details and dimensions

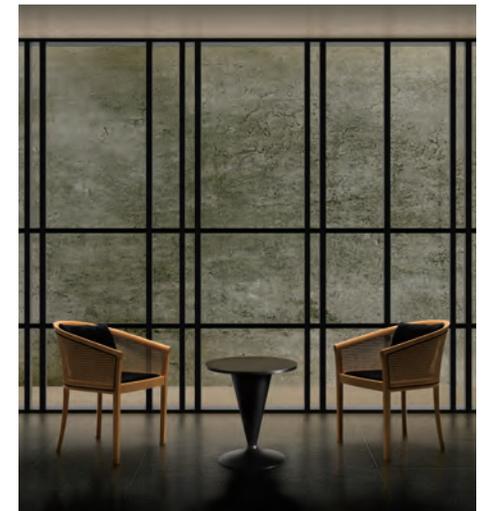


L2309AC アームチェア
w550 d586 h740 sh430

自然素材の温かみがありながら、モダンな空間にも調和するアームチェアです。古くから人々に親しまれているラタンの椅子の作り方に着目し、ラタンを留める機能としての丸芯を意匠へと変えました。また通常とは反対側にラタンを張ることで網目の文様の美しさを最大限魅せています。ホテルエントランスやダイニング等の空間のアクセントとしてご使用いただけます。



MEC DESIGN INTERNATIONAL
Ayako Izukawa



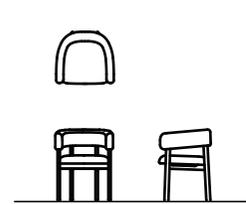
lire リレ



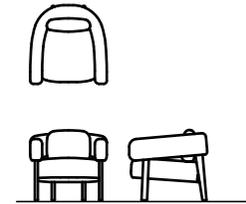
重厚な塊と大きなフォルムは、イタリア建築の特徴のひとつです。lire はイタリア建築のこの特徴を咀嚼し、デザインの力を通じて過去のイタリアと現在の日本を橋渡ししています。lire はチェア、アームチェア、ソファの3つの椅子と、様々なサイズバリエーションのテーブルがあります。様々な色や素材の組み合わせが可能で、ホテル、オフィス、そして自宅のリビングを彩ります。

あなただけの lire を作る準備はできていますか？

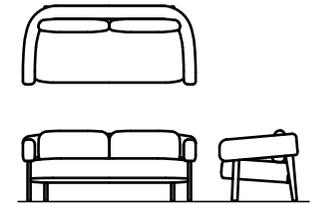
details and dimensions



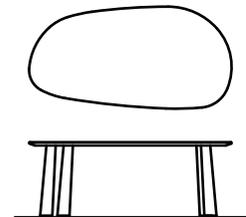
チェア
W570 D500 H693 SH440



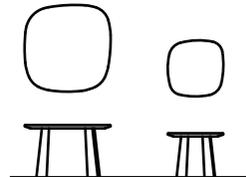
アームチェア
W750 D753 H730 SH410



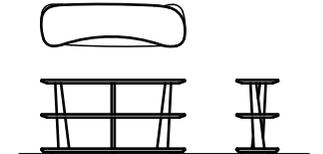
ソファ
W1700 D753 H730 SH410



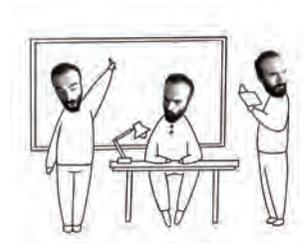
テーブル
W2000 D1000 H720



コーヒーテーブル
□850/550 H500/420



シェルフ
W1420 D415 H715



rikarudo.

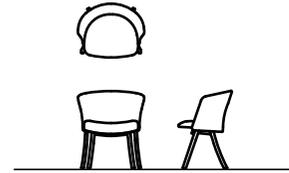
リカルド・ダニエルは、日本を拠点に活動するイタリア人建築家・デザイナーです。2020年に自身の事務所「rikarudo.」を立ち上げる。建築、インテリア、家具、プロダクトデザインなど、様々なスケールのプロジェクトに携わり、国際的な経歴を持つ。2021年、イヨベ工芸社とのコラボレーションを開始。

membrane chair メンブレンチェア

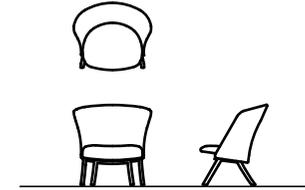


メンブレンチェアは成型合板で成型された木製フレームにクッション性を備えたファブリックを、膜を張るように覆い被せて形作ったチェアシリーズです。膜のように張られたボディは有機的なフォルムを作り、身体への感触も優しく、心地よさをもたらします。膜としてのファブリックは容易に着脱可能で、素材の分別のしやすさにもつながっています。

details and dimensions



チェア
W640 D550 H756 SH450



ラウンジチェア
W760 D670 H784 SH390



TOMOYUKI MATSUOKA DESIGN

松岡 智之：1992年、千葉大学工学部工業意匠学科卒業。株式会社 GK 設計道具環境設計部に所属し、郵政省新型郵便ポストや多摩都市モノレール車両デザインなど環境プロダクトのデザインに携わる。その後、デンマーク王立アカデミーデザイン科に留学。2001年に帰国し、トモユキマツオカデザインを設立。現在は家具デザイン、プロダクトデザインなどを中心に活動中。



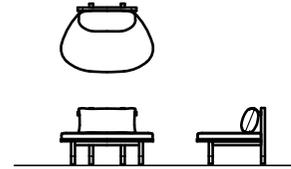
Agumu Chair アグムチェア



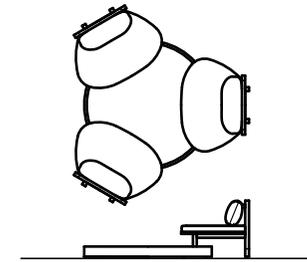
Agumu はあぐらの語源でもある "足組む" 椅子です。

足組むとは、座るときに一方の脚を他方の脚の上に交差させて座る姿勢を指し、古くから世界中で愛されています。単独では自由に使うことができ、複数使いでは座る距離を固定化することで人と人が関係性を踏み込まざるを得ない距離をつくり出します。このギリギリの距離感で、人と人のエンゲージメントを生み出す椅子です。

details and dimensions



チェア
W910 D670 H555 SH310



ベース
Φ1260 H105



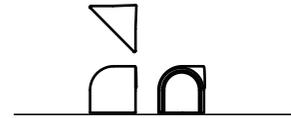
DE-SIGN INC.

株式会社ディー・サインは「ハタラクをドライブする」ために、目的をもって場を創る、プロフェッショナル集団です。オフィスや商業・公共施設など様々なプロジェクトにおいて、企画、コンサルティング、プロジェクトマネジメント、デザインを行っています。新たな価値を生む場のために、常に新たなチャレンジを行い続けています。



Vault chair ヴォールトチェア

details and dimensions



チェア
W460 D460 H460

二本のアーチを組み合わせた三角形ヴォールトのチェア。どの方向からでも座ることができ、それぞれに異なる座り心地を楽しむことができます。複数のチェアのアーチを隣り合わせに連結することで、ヴォールトは長いトンネルのようにつながり、ベンチのように人々が集まれる大きな座面となり、または環状に連結すれば、花が咲いたように人の輪をつくることもできます。使い方に応じて様々に連結、分断させて居場所をつくれるのも特徴です。ヴォールト座面の張地は、長い毛並みのものやすっきりとした張地のものなど自在に選択できます。それぞれの特徴を持った張地による座り心地と存在感を持ったユニットを自在に組み合わせ、使い方に応じて変化する様を楽しむことのできる、ある種の生命体のようなチェアです。



Tomohiro Hata

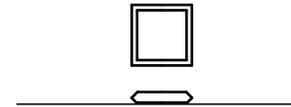
兵庫県生まれ。2003年に京都大学工学院工学研究科修了後、高松伸建築設計事務所に勤務。その後2005年に自身のアトリエである畑友洋建築設計事務所を設立し、現在は神戸芸術工科大学准教授。

Wind Stories ウィンドストーリーズ

details and dimensions



床座にも椅子座にも対応できるスタッキングツールを考えた。ひとつひとつの座は籐が編み込まれた座布団のような形状であり、座ると風が通り抜けて心地良い。2つ・3つ・4つと重ねると、ロースツール・スツール・ハイスツールとして座ることができる。地球時代の多様なライフスタイルを尊重できるよう、スタッキングで床座・椅子座の両方に寄り添う柔軟性を持ち、地球環境時代の椅子なので材料は木材や籐といった自然な素材とし、地球沸騰化時代に人肌に触れるので、空気を湛え、風が抜ける座とした。同じ形が反復し積層される姿は、まるで五重塔などの和風建築のようだと思った。そこで名前に階数も意味する Stories とつけた。



チェア
W600 D600 H100



Takaaki Fuji

建築家。tyfa、三菱地所設計、早稲田大学大学院博士課程在籍。環境シミュレーションやサーキュラー素材やシステムの探求を通して、地球環境への配慮を形態的に具現化するデザインアプローチによって家具から超高層まで幅広く手掛けている。第4回日本建築設計学会賞大賞、日本建築学会作品選新人賞、CTBUH Award of Excellence 他 国内外の受賞多数。

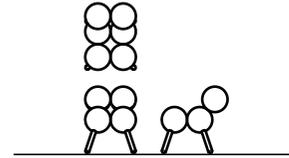


Seasons シーズンズ



家の中でハイハイしている子どもの目線では、椅子が一つの風景のように感じられるのではないかと思いました。そこでまず、子どもがぶつかっても痛くない柔らかい椅子を作ろうとしました。有機的なフォルムで感覚的に座りたくなる椅子です。次に、世界の人々がこの椅子を見た時に、日本らしさが感じられると良いと思いました。浮世絵のように自然をグラフィカルに、抽象化して椅子に取り込むことを考えました。これらのアイデアをもとに、丸い「樹幹」と、4本の「幹」を集めて一つの椅子にしました。「樹幹」には、春の桜、夏の緑、秋の落葉、冬の雪といった季節の色をあてはめます。この椅子が並ぶと、四季の風景が生まれます。

details and dimensions



チェア
W500 D650 H650 SH450



Yu Momoeda

百枝優は隈研吾の下で経験を積んだあと、2014年に「YU Momoeda Architects」を福岡に設立しました。彼はデザインを通して、見えないもの、くらしの中に馴染んでいて普段は気づきにくいものを掘り上げ、それらにかたちを与えます。





ISO 14001
ISO 9001

IYOBE

株式会社イヨベ工芸社 IYOBE Co.,Ltd.
〒135-8331 東京都江東区千田23-13
TEL:03-3647-2734 FAX:03-3647-8160
<http://www.iyobe.com>

[WEBサイトはこちらをクリック](#)